学校番号	２１５

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習Ⅱ・B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　ベーシックスタイル　数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学力＝①問題読解力×②解法暗記力×③論理的思考力×④計算の正確性×⑤処理スピード
であることを意識して、取り組んでください。繰り返し問題を解くことで力がついていくので、とにかく頑張る。わからないところは、調べる、聞きに行く。

2　学習の到達目標

数学Ⅱ・Bで学習した内容について、
【知識及び技能】
知識の習得と技能の深化を目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を数学的に考察し、発展処理する能力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し、習得した知識、習熟した技能、事象を数学的に考察する能力等を活用する態度を育てることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	数学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し、問題解決の過程を振り返って考察を深め、積極的に評価・改善したりしようとする態度を身につけた。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第8章 式と証明	二項定理 整式の割り算 恒等式 等式の証明 正の数、平方の大小 相加相乗平均の大小	a：問題集で扱った問題が確実に解けるようになった。 b：事象を数学的に考察して表現し、思考の過程を振り返り多面的・発展的 に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方ができるようになった。	定期考査	定期考査	課題提出、学習活動への参加態度
	第9章 複素数と方程式	複素数 複素数の四則計算 2 次方程式の解の判別 解と係数の関係 2 次式の因数分解 剰余の定理 因数定理 高次方程式の解法 3 次方程式の解と係数	c：既習分野の基本的な問題を確実に解答した。途中式も正確にかくように努 力した。テスト後の振り返りを行い、理解を深めた。			
	第10章 図形と方程式	2 点間の距離 内分点、外分点の座標 直線の方程式 円の方程式 円の接線 軌跡を求める手順 不等式の表す領域				
	第11章 三角関数	扇形の弧の長さと面積 三角関数の性質 加法定理 2 倍角の公式 半角の公式 三角関数の合成				

2学期	第12章 指数・対数関数	指数の拡張 累乗根の性質 指数関数の特徴 対数の性質 対数関数の特徴 常用対数の利用				
	第13章 微分法と積分法	平均変化率と微分係数 導関数の定義、公式 接線の方程式 関数の増減、極大・極小 不定積分、定積分 曲線とx軸で挟まれた面積 2曲線で挟まれた面積				
	第14章 数列	等差数列とその和 等比数列とその和 Σの公式･性質 階差数列 数列の和と一般項 漸化式と一般項 数学的帰納法				
	第 16 章 ベクトル	基本性質 内積 ベクトルの平行･垂直 分点と位置ベクトル 点が直線上にあるための条件 平面上の点の存在範囲 空間ベクトル				
学年末	第15章 統計的な推測	確率変数の期待値、分散、標準偏差 確率変数の変換 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 標本平均とその分布 推定 仮説検定				
	入試問題演習	文系、看護系希望の生徒の受験する大学･専門学校の過去の入試問題の演習				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度